

拙堂會報

第11号

2021年12月1日発行

発行所

齋藤拙堂顕彰会

理事長 飯田 俊司

津市一身田豊野1406-197

コロナ来たりて始めて

覚ゆ郊居の好きを

思い出の人

「日常」はいつの日?

藩校有造館建学の流れ―その六

長崎海軍伝習所に派遣された俊英たち

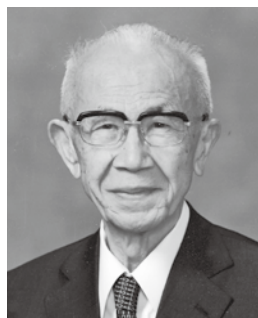
令和三年度下期の行事予定
齋藤拙堂展開催のお知らせ

会員一覧

7 7 6

コロナ来たりて始めて覚ゆ 郊居の好きを

顧問 齋藤 正和



「郊居」とは郊外の住居即ち田舎住まいである。昨今コロナ禍のため、市街地から離れて自然と親しむ機会が多くなった。私は四十年以上鈴鹿山麓に住んでいるが、これまで町の方にばかり目を向けてきて、身近な自然には全く無関心であった。ところが、最近、山麓をドライブした

り、山の中腹のホテルのロビーでコーヒーをすすりながら伊勢湾を遠望する機会が非常に多くなり、拙堂が自然を詠んだ詩の気持ちが或る程度わかるような気がして、うれしく思っている。拙堂は嘉永四年、五十五歳の時、引退後に暮らす私邸を始めて「郊外」に建てた。それまでは藩邸、今でいえば公務員住宅に住んでいて持ち家がなかったのだ。山荘を造営したとき最初に詠んだ詩の一節に

「衰来たりて始めて覚ゆ郊居の好きを、老去りて倍ます知る身世の浮きを。」

という句がある。だが、私にとっては恥ずかしながら、掲題の「コロナ来たりて始めて覚

ゆ・・・」なのである。

拙堂はその別荘で何をしたか。庭石を移したり植え木を植え替えたりと結構忙しいと詠っている。松竹菊梅など四季折々の花、鶯、ホトトギスなども詠っている。私も鈴鹿の山野を歩いて拙堂の追体験ができてうれしい。休日や引退後に「朝寝」ができることが喜びだったにちがいない。起床後茶を飲み庭石に降り立って雲の流れを看るといふ句がある。私も近頃、雲を友達と感ずるようになったが、それは拙堂の影響かもしれない。とくに「白雲」がよい。青空に白雲、青山に白雲がよい。雲といっても灰色の雲はご免こうむりたいが、雨上がり霧のかかった山の風情は大変好ましい。拙堂のように庭の竹を「此の君」などと愛することのできない私だが、一つだけ拙堂にできなかったことがある。それは私の家の近くに出来た新温泉の中庭になり広い竹林があるので一幅の竹の大水墨画を鑑賞する気分で大浴場の湯につかることができるのだ。

拙堂の詩には、「世間の塵をのがれて」という

思い出の人

会長 加藤 龍宗



夫^{つま}ささふ^{ひとよ}一生^{ゆめ}の夢^ひよりありし日の

電話^{でんわ}の声^{こゑ}ぞいま偲^{しの}ばるる

龍宗

う文句が多く使われている。公害のない当時、「塵」とは「利欲」のことであつたろう。だから、気の合った友人が訪ねてくると大変喜んで、庭前の菜園で韭（にら）を摘んで味噌和えにでもして一献傾けるのが非常に好きだった。それこそが「青眼の友」との付き合いというものであろう。

拙堂は隠者になりたかつたが、「黒船来航」の時代、そもいかなかった。拙堂は退職後も農業の書物を手放さなかった。世捨て人ではなかったのだ。

今日はそれ以上の国家的危機だ。米中覇権戦争の狭間にある不沈空母日本の将来はどうなるのだろうか。グレートリセット、デジタル・

顕彰会創立五ケ年が経過して、悲しい出来事に出逢った。四月十七日の事でした。拙堂の玄孫であり、当会の創設者でもある齋藤正和先生のお奥方、國子様が天に召されたのです。私が親しくお会いしたのは五年前、津市比佐豆知神社境内に「拙堂先生山荘址碑」が建立された時のこと、正和先生に寄り添い、毅然として来場の方々に気配りされている老婦人に、日本古来よりの婦道の真の姿を見たのであった。その後、正和先生宅に電話をする度に「龍宗先生ですネ、しばらくお待ち下さい」と、やさしいお声で対応され、その温厚な人柄を想い、どこか天国にい

ファシズムなど世間は喧しい。郊居で暢気に暮らしてよいのだろうかと思う昨今である。



前列 正和先生 左隣 國子様

る母親と接しているかの様に思ったものでした。いつの頃からか会議の席で正和先生にお会いすると「家内の具合が良くないので私が看護していますよ」と笑っておられたことがあった、正に夫唱婦隨の微笑ましい理想のご夫婦であると感じていた。

突然の訃報に「浮生若夢」とはいえ悲しみの情を禁じえず、唯佛前に香を立て冥福を祈るのみであった。國子さん本당にご苦労様でした、安らかにねむり下さい。

さて拙堂は一八四四年、四十七才の時、妻、澄と永遠の別れをしている、一八三六年、三十九才の時、病弱であった妻の受診のため京都に出向いている、拙堂の代表詩「禁門を過ぐ」が詠われたときである、大へんな愛妻家であったことを偲ばせる、四十四才で郡奉行となり四十六才で督学参謀となり順調に栄転を重ね、督学を目前としたときの悲しみに次の詩を詠っている。

「西窓に燭を切りし時」中国の故事を引用して妻と夜話し合った事をなつかしんでの詩である、正和先生の心境を拝し、先生の弥栄を心よりお祈り申し上げます。

結びに会員の皆様のご健勝にて新年をお迎えいただきますことを祈念いたします。

亡妻を悼む

齋藤拙堂

恍として 空しく 夢 床 物を 人に 一 二
 憶ふ 煩 裡 前 覧 向 朝 十
 西 夜 分 髻 何 下 我 余
 窓 月 明 髻 堪 棄 年
 燭 来 寤 音 暗 公 去 形
 切 相 寐 容 地 然 何 影
 時 弔 疑 在 悲 涙 之 隨

幾年か影のように随って

突然私から去って何くへかい

人はばかりことなく涙がたえず

物をみても深い悲しみである

今なほねどこにはほうふつとおも

かげがあり

ゆめの中にはっきりと表れねてもさめ

てもうつつかとおもう

月の夜が来たり共に弔うに

気ぬけて想うに妻の室の灯を消した
ときだ



「日常」はいつの日？

理事長 飯田 俊司



中国・武漢市で一昨年十二月八日に新型コロナウイルス感染症が発症、以来昨年三月十一日のWHOによる「パンデミック表明」を経て、四月十六日には緊急事態宣言が全都道府県で発令され、多くの国民が日常を奪われてから一年半が経過した。日本は第二次大戦後阪神淡路大震災、東日本大震災をはじめ毎年のように発生する自然災害やバブル崩壊、リーマンショックなどの多くの困難な事態に見舞われてきたが、全国民が同時に不自由な日常を感じることはなかった。相次ぐ緊急事態宣言・まん延防止等特別措置により、マスクの着用、手洗い、密集、密接・密閉の三密の回避、外出の自粛、飲食店での時短、酒類の販売制限などの規制等により不自由な生活を余儀なくされてきた。

こうした事態のなかで、一年延期の東京五輪は七月二十三日～八月八日、パリオリンピックが八月二十四日～九月五日に開催された。

開催の直前まで開催賛成・反対とまさに国論が二分されたが、大会は成功裏に終わった。

八年前に自ら手を挙げ、開催決定の報に国民が大喜びしたことを思い出す。日本はコロナ禍の真最中でも、開催国の責任を全うした。

徹底的な感染対策、選手を癒したボランティアのおもてなし、多様な食文化や宗教に配慮した、料理などの国・東京都の努力に加え、質の高い医療体制もあって、各国要人から「日本だからコロナ禍の中でも開催できた」と称賛の言葉が伝えられた。

幕末から明治維新にかけて、海外から多くの外交官や政府に雇われた学者、技師などが日本に來たが、彼らの日本の印象を纏めた「逝きし世の面影」（渡辺京二著）という著書がある。そこには、日本人が善良で愛想がよく、勤勉で辛抱強く働く、穏やかで礼儀正しい、礼節を重んじるなど一様に東京五輪で受けた称賛と同じ言葉が並び、日本人の人間性は変わっていないことに安堵する。コロナ禍という異常時でなかったらもっとと世界の人々に満足してもらえたと思うと残念だ。猛威を振るってきた第五波のコロナ感染者がこのところ急速に減少してきた。ワクチン接種率の向上、マスクの着用、人流の抑制などの効果が言われているものの、明確な医学的検証がな

藩校有造館建学の流れ―その六

督学 齋藤拙堂の人材教育

長崎海軍伝習所に

派遣された俊英たち

顧問 中川 禎二



前号で拙堂は洋学を探究し地政学的国防を提唱して、長い間鎖国のため井の中の蛙になっていた日本人に対し、広く世界に目を向けよと警鐘を鳴らした事を述べました。そして有造館に洋学館・種痘館を創設し、蘭学者を招聘し、江

いのは不安である。第四波はイギリス由来の「アルファ株」、第五波はインド由来の「デルタ株」といった変異ウイルスが感染拡大の大きな要因になってきた。心配される第六波が来た時の備えは大丈夫か。日本発の変異ウイルスも考えるところ、やはり国産のワクチンと治療薬が望まれる。一日も早く日常生活に戻ることを期待したい。

戸や長崎に遊学生を派遣しました。今回は長崎海軍伝習所と、そこに派遣された有造館の若き俊英達を取りあげお伝えします。

長崎海軍伝習所

徳川幕府は諸外国との緊迫した諸情勢に、日本は海国である以上、海軍をつくり軍備を整える政策を企てた。そこで長く友好関係を持つオランダに協力を求め、嘉永六年九月(一八五三年)に交渉を始め安政二年八月(一八五五年)海軍伝習所が開設された。所長は長崎奉行所・永井玄番頭で伝習生監督は勝麟太郎であった。教官は全員オランダ人でペレス・ライケン大尉が隊長で士官・下士官・火夫・水兵に至るまで二十二名で発足した。当時としては多額の投資であったが、日本近代化への貢献が誠に大きかった事は幕府の功績として認めなければならない。

津藩からの伝習生

海軍伝習所が開設されるや早々に全国から俊秀が集まっている。藤堂藩から派遣された藩士は「市川清之助・村田佐十郎・菅野秀二・渡辺七郎・橋本平源太・水谷八十八・滝本重吉・深井半左衛門・山名正太夫・水沼久太夫・堀江鍬次郎・柳宗五郎(檐悦)」以上十二名である。

勝海舟著「海軍歴史」によると第一回(第一期生)の参加藩と生徒数は次の通りである。

幕府藩士は五十名・鹿児島藩十六名・熊本藩五名・福岡藩二十八名・萩藩十五名・佐賀藩四十七名・津藩十二名・福山藩四名・掛川藩一名以上、幕府ほか八藩、百七十八名である。

全国で約二百六十藩と言われる中で津藩の参加は、目を見張るものがあり、督学齋藤拙堂が人材育成に如何に力を入れたかが窺われる。

学習はオランダから寄贈を受けた蒸気船「スピン」号で行われ、航海術・運用術・造船・砲術・船具学・測量術・数学・騎兵訓練・歩兵訓練・蒸気・地理・蘭語等である。指導はかなり厳しく特に実技訓練は、生徒にとって苦難の連続であった。最も困ったのは言語の壁で、最初は通訳つきの学習であったがかなり能率の悪いものであった。幕府学問所昌平黌の秀才でも想像を絶する苦勞を重ねたと言われている。しかし、不屈の努力でこの苦勞を乗り越え近代軍事科学を身につけた。

幕府は蒸気船「スピン」号(のちの観光丸)の寄贈を受けた代わりに、新造艦を二隻発注した。このうち最初の一隻が竣工し長崎で引き渡しされたのが、安政四年九月(一八五七年)であった。この船が勝海舟ら日本人の手による最初の太平洋横断した「咸臨丸」である。

丁度これを機にオランダ教官団との契約が満期となり、長崎海軍伝習生の第一期生は卒業した。幕府は第一期生の海軍伝習がかなりの成果を収めたので、オランダに第二次教官団を求め

更に二年間延長し安政六年十一月(一八五九年)まで実施した。この間第二期生・第三期生が学習した。ここで教育を受けた生徒たちが近代日本の礎を築いた俊英として明治時代に活躍した。余談となるが長崎海軍伝習所は海軍技術以外に煉瓦建てる機械工場、蒸気機関工場(三菱長崎造船所の前身)の建設や、軍医官ボンペによる物理学・化学・医学の進歩的な指導と、長崎養生所(近代洋式病院で現在の長崎大学医学部の前身)の建設は日本に多大の貢献をしたことを私共は忘れてはならない。

次号では、長崎海軍伝習所へ派遣された津藩の十二名のうち偉業を残した堀江鍬次郎と柳宗五郎(檐悦)について述べたい。

参考文献 勝海舟著「海軍歴史」

高橋邦太郎著「軍事」

藤井哲博著「長崎海軍伝習所」



令和三年度下期の行事予定

齋藤拙堂顕彰

第六回「俳句・短歌」の募集

十月一日発行の津市広報と、十月十一日付けで事務局から会員の皆様にお知らせしたように第六回・齋藤拙堂顕彰「俳句・短歌」を募集しました。

応募期限は、令和三年十月一日（金）～令和三年十二月十日（金）まで。

応募方法

○官制はがき一枚に五作品。自作で未発表の物に限ります。

第6回 齋藤拙堂顕彰

「俳句・短歌」募集

テーマ

- ・齋藤拙堂 ・有造館
- ・津の風景と歴史を含む自由題

齋藤拙堂は江戸時代末期に津藩校有造館を拠点として全国的に活躍した漢学者。津市民が誇るべき偉大な詩人・学者・教育者・経世家である。

募集期間

令和 3年 10月 1日（金曜日）
～令和 3年 12月 10日（金曜日）

応募方法

官制はがき一枚に5作品。自作で未発表の物に限ります。俳句・短歌いずれも一人5作品以内とします。選考が実施される場合があります。

住所・氏名（フリガナ）、年齢、電話番号、郵便番号を明記の上出品して下さい。

選考発表

応募された作品のうち、優秀作品に津市長賞、津市議会議員賞、津市教育委員会教育長賞及び齋藤拙堂顕彰会会長賞が贈られ、令和4年3月20日（日）第6回齋藤拙堂顕彰吟道大会で表彰します。

主催：齋藤拙堂顕彰会 共催：津市吟剣詩舞道連盟
後援：津市・津市教育委員会

応募先：齋藤拙堂顕彰会 山崎 満 世 〒514-1138 津市戸木町 2083 TEL. 059-255-2515



○俳句・短歌いずれも一人五作品以内とします。

○選者が添削する場合があります。

○住所・氏名・年齢・電話番号・郵便番号を明記。

俳句・短歌担当 山崎満世理事

（☎059-255-2515）

優秀作品は令和四年三月二十日（日）の第六回齋藤拙堂顕彰吟道大会で表彰し吟詠されます。

賞は津市長賞・津市議会議員賞・津市教育長賞・齋藤拙堂顕彰会会長賞の四賞です。選者は、

俳句は山崎満世理事、短歌は三芳公子で、それぞれ津市発行「津市民文化」の俳句・短歌欄の選を担当しておられます。

令和四年三月四日（金）から三月六日（日）まで、津リージョンプラザ三階の生活文化情報センター（展示室）で、齋藤拙堂を顕彰する県下の小中学生書道展を開催します。

齋藤拙堂顕彰

『第五回小中学生書道展』

令和四年三月四日（金）から三月六日（日）まで、津リージョンプラザ三階の生活文化情報センター（展示室）で、齋藤拙堂を顕彰する県下の小中学生書道展を開催します。

第5回 齋藤拙堂顕彰

小中学生書道展

作品募集

会期 令和4年 3月4日（金）～3月6日（日）
午前9時30分～午後4時30分 入場無料
（最終日は午後2時まで）

会場 津リージョンプラザ3階
生活文化情報センター（展示室）
津市西丸之内23-1

募集要項

- ・対象 出品料 無料
本市及び津市を中心とした近隣市の小中学生。作品は毛筆作品。
- ・作品の大きさ
八つ切り（縦67.5cm×横17.5cm）縦形式のみ
- ・課題
小1＝訓読、小2＝みどり、小3＝せつどう、小4＝入徳門、小5＝有造館、小6＝拙堂文話、中学生＝月経記勝
小学生は縦書・中学生は横書又は行書。一人一点。
- ・名前の書き方
原則として小学1・2年生はひらがな、3年生以上は漢字で書くのが望ましいが特に指定はない。
中学生の行書作品は名前も行書で書くこと。
学年の書き方は、(例)小1～中3、又は一年～六年、中学生も一年～三年のどちらでもよい。
- ・その他
作品の返却は原則として入賞者のみとさせていただきますのでご了承ください。

募集期間 令和3年12月1日（水）～令和4年1月16日（日）厳守

お問い合わせ：齋藤拙堂顕彰会 津道徳教育事務所 秘書
〒514-0065 津市河辺町 3047-14 ☎059-224-3670

主催：齋藤拙堂顕彰会 共催：津市 後援：津市教育委員会・中日新聞社 協賛：名古屋キョー一和

展示時間は午前九時三十分から午後四時三十分。最終日は午後二時。

応募要項

対象＝小学生・中学生の毛筆作品

作品の大きさ＝八ツ切り・縦形式のみ

課題＝小1・おしろ 小2・みどり 小3・せつどう 小4・入徳門

小5・有造館 小6・拙堂文話

中学生・月経記勝

書体＝小学生は楷書

中学生は楷書または行書

一人一点

名前の書き方＝小学一、二年はひらがな

三年以上は漢字。

学年の書き方＝小1～中3、又は一年～六年

中学生も一年～三年のどちらでもよい。

行書作品は名前も行書

応募期間は、令和三年十二月一日（水）から

令和四年一月十六日（日）

齋藤拙堂展開催のお知らせ

令和4年2月19日（土）～4月17日（日）

— 齋藤正和コレクション受贈記念 —

場 所：石水博物館

〈企画展〉

齋藤拙堂展

— 齋藤正和コレクション受贈記念 —



齋藤拙堂

齋藤拙堂は江戸時代末期に津を拠点として活躍した漢学者で、津藩藩校有造館の督学としてもその名を知られています。本展は、齋藤拙堂の玄孫に当たる齋藤正和氏のコレクション受贈を記念し、拙堂の書画をはじめ交流のあった文人たちの作品を展示します。

齋藤拙堂顕彰吟道大会

令和四年三月二十日（日）、津市吟剣詩舞道連盟主催・津市共催・齋藤拙堂顕彰会後援の第六

優秀な作品には津市長賞・津市議会議長賞・津市教育長賞・齋藤拙堂顕彰会会長賞等が贈られ、その表彰は令和四年三月六日（日）に行われます。
書道展担当 稲垣武嗣理事

(059) 224-3670

回齋藤拙堂顕彰吟道大会が開催されます。

なお、当日「齋藤拙堂顕彰・俳句・短歌」の表彰式を行い、優秀作品が吟じられます。

入場は無料。ご来場を歓迎します

日時 令和四年三月二十日（日）

午前十一時三十分から四時三十分

場所 津市大門七十五

津センターパレス二階

中央公民館ホール

会員一覧

令和三年
十一月一日現在

● 団体会員（順不同・敬称略）

株式会社百五総合研究所

伊藤印刷株式会社

二松学舎大学松苓会三重県支部朋友会

株式会社百五銀行

公益社団法人日本吟道学院水心会

三重交通株式会社

百五リース株式会社

公益社団法人日本詩吟学院津岳風会

岡三証券株式会社津支店

株式会社ZTV

百五証券株式会社

株式会社刀根菓子館

錦水流淡翠吟詠会

水远流詩吟朗詠会

株式会社百五カード

藤貴流扇和会三重県本部

ミフジ株式会社

比佐豆知神社

社会福祉法人三鈴会さくら保育園

株式会社ヘルシーファミリー

井村屋グループ株式会社

株式会社ぜにやH・C

株式会社ヘリテッジホームデザイン

株式会社辻工務店

三重トヨペット株式会社

一般財団法人三重県環境保全事業団

三重県高等学校国語教育研究会

● 個人会員

（順不同・敬称略）

赤塚 聰	伊藤 武治	奥田 則子
赤野 多恵	伊藤 鑠造	栢原 良
浅田 剛夫	稲垣 武嗣	勝眞 千代
阿部みどり	稲葉 邦成	葛山 丕
飯田 俊司	井ノ口輔胖	加藤 栄
飯田 俊英	岩崎 克彦	加藤 恒二
飯田 泰之	上島 正明	加藤 龍宗
池上 悦美	内田 観成	金児 玲子
池川 誠一	梅田 安春	川合 俊平
石野 孝廣	浦出 雅人	川西みどり
板谷ツヤ子	大井 和人	河村ツタ子
伊藤 英次	大森 芳二	木崎 真陽
伊藤 歳恭	小川 直紀	喜田 恭子

紀平 奉剣	瀧川 茜	中島 伸子	水谷 千春
紀平 嘉信	竹内 雅明	中津 忠夫	見並 勤子
草深久美子	岡 美代	中野 清	村田 修
楠 久子	（竹村観扇）	中村 昭子	森岡 三和
雲井 敬	辰巳 清和	中村美知子	森永 昌雄
雲井 純	田中康一郎	長合 教実	森永 千寿
栗真 恵光	田中 幸子	西岡 慶子	森永 敏江
向坂 和也	田中 智之	西川 幾子	安村久仁男
粉川 孝英	田中 秀人	長谷 茂	柳川 隆一
國分 昭男	田邊 礼子	畠山 彦和	柳谷 剛
児玉 進	谷口 定男	林 朝子	築田 和郎
小林 貴虎	種田 啓子	林 竹生	山上 和美
齋藤 正晃	種田 真山	林 忠男	山家 泉
齋藤 正和	田矢 修介	林口 朋一	山崎 計
齋藤 正人	塚澤 正	葉山 俊郎	山崎 満世
酒井 宏明	塚澤 洋	久岡 克美	山中 利之
坂部 竜也	柘植 信子	人見 一晴	山本三千代
佐々木とし子	辻 保彦	福 正直	吉田 壽
澤口 真理	津村 観耀	藤井 奉修	
下野坊順恵	寺尾 正紀	藤貴 静扇	
菅野 克也	寺田 観啓	淵脇 實博	
杉浦 雅和	富田 陽子	本田三千子	
村主 英明	豊田 龍俊	増田 廸子	
高岡 弘典	内藤 奉悠	増田 幸恵	
高沖 芳寿	中川 禎二	松井 幸子	
高倉ふじ子	中川 弘文	松村 勝順	
高山 尚	長嶋紀美子	水谷 忠文	

水谷 千春	米田 豊山	社河内久美子
見並 勤子	米田 嬌山	（山口）
村田 修	若林 宏幸	中西 容聖
森岡 三和	芳野 貴典	檜原富美子
森永 昌雄	青木 美樹	東谷きみ子
森永 千寿	三芳 公子	
森永 敏江	樋田 由美	
安村久仁男	高田 峰昭	
柳川 隆一	谷 伸司	
柳谷 剛	中村 誠	
築田 和郎	深貝 龍舟	
山上 和美	細谷 正吉	
山家 泉	小林 一成	
山崎 計	小林 彰	
山崎 満世	古海 玲子	
山中 利之	石澤 敏夫	
山本三千代	森下 文夫	
吉田 壽	福島 鎮子	

http://setsudo.jp/

ホームページURL

齋藤拙堂顕彰会ホームページを
ご利用下さい。
下記QRコードからアクセスで
きます。

